



社会福祉法人 博愛会
デイサービスセンター ルーエハイム



梅雨が明け、本格的な夏がやってまいりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。今年は梅雨が明けきらない内から暑い日が多く、また明けるのも例年に比べてずいぶん早くかったですね。熱中症の話題が毎日のように報道されていますが、デイサービスの利用者様には水分の摂取を欠かさないようにしていただき、お元気にお過ごしいただいております。

今月号も楽しい話題をお届けいたします。どうぞ、ご一読下さい。

* 月に1度おやつ作りをしています * 6月22日(水) あじさいパイ作り



今回はパイを四角に切り、縦横に切り込みを入れ焼き上げたパイに、ジャムと生クリームで味付けしたクリームを塗った“あじさいパイ”に挑戦しました。

皆様焼き上がってきたパイに、「かわいい形やなあ」と終始笑顔で「食べるのがもったいない」とニコニコしながら眺めてみえました。今回も大成功でした



* 毎月10日はトモの日! * 7月11日(月) 冷やし中華定食

*7月10日は日曜日でデイサービスがお休みのため、7月は11日が「トモの日」になりました

冷やし中華
ゆかりご飯
夏野菜のトマト煮
茄子のずんだ和え



梅酒寒天

一口メモ

夏に美味しい“枝豆”を使用した「ずんだ和え」。

ずんだ(豆打)を和え衣に用いた和え物で、茄子・れんこん・とうがんなどの野菜、こんにゃく、魚介類などさまざまな材料を用いて作られます。

もともとは東北地方の郷土料理ですが、今では一般的に普及しています。

サービス利用・デイ通信へのお問い合わせは

〒510-0266 鈴鹿市長法寺町字権現 763

059-372-3811(代) fax 059-372-3814

E-mail ruheheim@circus.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.ruheheim.com>

ホームページ スタッフブログの“ルーエハイム通い”では、デイサービスセンターの行事等を紹介しています。





* ボランティアさんが来てくれました *



6月27日「合川公民館 大正琴 昼の部 の皆様来所」

合川公民館で大正琴をされてみえる 8 名の皆様に来所いただきました。「かごの鳥」「雨」「肩たたき」から「黒田節」そして「北国の春」「星影のワルツ」など広いレパートリーから全 13 曲を演奏していただきました。メンバーの皆様の華麗な演奏に、ご利用者様は「うっとりしますなァ」「ええ音色やなァ」としばしの間、聞き惚れていらっしやいました。

6月28日「ネイルボランティアさん来所」



デイサービスに何度もおいでいただいている桜井様に 28 日来所いただき、いつものようにご利用者様のネイルケアとハンドマッサージをしていただきました。ご利用者様は「次はいつ来ていただくのですか?」「次は私もしていただけますか?」「お風呂へ入っても



いいですか?」とたくさん質問され、お話も楽しみながら、きれいな爪にさせていただいてとても喜んでみえました。

デイサービスセンターでは音楽療法を行なっています(週1回隔週の水・金曜日)

七夕さま

笹の葉 さらさら・・・

7月7日、七夕さま。

デイルームにも利用者様の願いがこもった短冊がたくさん飾られていました。

「家族が元気で暮らせますように」

「百歳まで生きたい」「若くなりたい」

「天の川のようにきれいな世の中になりますように」・・・

今年の七夕はあいにくの天気でしたが、雲の上では天の川が流れ、皆様の願いが届いていることでしょう・・・

by 音楽療法士 A・K



デイサービスから

デイサービスでは日曜日以外、月曜日から土曜日まで(祝日も)、毎日送迎の車を走らせています。鈴鹿・亀山・津にお住まいの方で西は安知本町、山下町、北は太森町、岡田町、東は磯山町、そして南は芸濃町、河芸町までをおおよその範囲として、お迎え・お送りをさせていただきます。

この範囲以外にお住まいの方でもどうぞお気軽にお問い合わせ下さい。可能な限り、ご要望に応じさせていただきます。お問い合わせは、ご本人様でもご家族様でも結構です。お待ち致しております。

電話番号 059-372-3811(代) 担当 那須

これからが本格的な夏ですが、暦のうえでは7月は早や「晩夏」となります。しかし、あまりに実感とかけ離れすぎていて、実感を重視すれば、まず「梅雨明け」のホッとした思いが先にきます。

昨年の夏は猛暑でしたが、今年はどうでしょうか。次第に「土用」にはいり、「盛夏」「炎暑」と続き、23日ころには「大暑」となり、末には「極暑」「油照り」となります。打ち水をしたり、つるを這わせて暑さを少しでも和らげたらと、デイサービスではゴーヤと朝顔を植えました。夏の生活の知恵をもう一度見直し、涼しく乗り切りたいと思います。

那須・佐々木